

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム  
実施状況および成果(広報用)

プログラム名	2019年信州大学人文学部オクスフォード・バススパ大学研修	
学部・研究科名	人文学部	
プログラム実施期間	2019年8月26日～9月9日	
研修先(国・都市・施設名)	連合王国(オクスフォード、バース、ロンドン)	
参加者数	27名	知の森からの支援者 : 26名
プログラム概要	本研修の目的は、信州大学人文学部用特別プログラムによって、オクスフォード大学講師他による人文学的科目を英語によるチュートリアル形式で受講し、オクスフォード大学施設での専門分野への導入と国際感覚の錬磨、また協定校であるバススパ大学での一日研修により、同校での留学を視野に入れた学部＝大学間教育・学術交流である。現地では各人がホームステイ先で異文化間交流を促進しながら英語によるコミュニケーション能力の涵養に努め、オクスフォードとバースという歴史ある都市の文化を人的交流を通して身近に体験することで学修効果を高める。バススパ大学での研修では、グループ発表や質疑応答を通じて信州や日本の魅力を英語で伝えることで、バススパ大学から信州大学への留学を勧める。オクスフォードでの研修の仕上げは、個人が英語によるプレゼンテーションを行うことで研修成果を発表し、英語での学術的な発信能力を高める。	

実施状況・成果

香港経由キャセイパシフィック航空で成田空港からロンドン・ヒースロー空港に到着後、バスでオクスフォードに直行した。現地に到着後、オクスフォード市内のCollege of International Education Oxford (CIE Oxford)に委託したプログラムにより、Oxford UnionとSt Peter's Collegeというオクスフォード大学施設にて、初日はオリエンテーション、テストと市内ガイドを経てオームステイ先に分かれた。27名を3クラスに分けられて翌日から授業を始めた。オクスフォード大学講師他による建築美学・文学・哲学・心理学・ジャーナリズム・ビジネスといった人文学的科目を受講。英語での発言を求められ、互いに意見を英語で交わし合う授業が行われた。8月27日から9月4日まではOxford Unionで、9月3日からはSt Peter's Collegeの教室とプレゼンホールにて研修を行った。8月31日にはロンドンの大英博物館を一日見学し、参加学生が高校生の教科書に掲載された歴史事物の実物を目の当たりにしながら、それぞれの興味の赴くまま、あるいはプロジェクトワークの取材を行った。9月2日にバススパ大学訪問を行い、演習室にてバススパ大学の教育の在り方を受講し、その後信州大学学生による英語のグループ発表を行って、信州大学や日本の文化について紹介してバススパ大学の学生の信州大学への留学を勧めた。またバース市内ではローマン・バス博物館を見学し、今も湯気蒸がる温泉を観ながらローマ時代のブリテン島の実際の人間の息吹を感じた。9月4日にはオクスフォード大学の学生と交流会を持ち、実際に学生が生活する空間を見学した。9月5、6日は、各人が興味を持ったテーマに沿って、パワーポイントを使いながら英語で発表し、それぞれに高い評価と達成感、或いは反省点を得た。その間、ホームステイ先ではそれぞれが交流を持ち、英語の力を伸ばしながら、英国で普通に生活する人々の営みに接した。勉強や研究では、オクスフォードという中世以来の町並みの中で学ぶ意義を研修生は感じながら、教室の中での知識が直結する環境を学んだ。外国で生活する中で、トラブルに出会った学生もいたが、オクスフォードという街の人々に助けられたり、自分自身の成長の中で解決をすることが出来、人間的な成長を実感できた者もいた。研修最終日には、各人がオクスフォード周辺地域やロンドンへ日帰り観光を行う等、研修で培った英語力や人間力を駆使して様々な英国体験の仕上げを行った。日曜日の早朝にオクスフォードからバスでロンドンヒースロー空港に向かい、海外でのチェックインなどを経験しながら香港経由で成田空港に到着。台風15号の影響に見舞われながらも最終的に帰宅した。

学生の声①-人文学部 学生

ほんの少しの滞在であっただけ、あまりオクスフォードの負の面を知らないため、良いところが前面に押し出されているのかも知れないけれど、肌や髪や目の色で区別せず、個人として他人を見ている人が多い印象を受けた。オクスフォードにはいろいろな人がいた。同じ制服を着た学生でも、実に多くの個性が存在していた。そして他人の個性を受け入れ、人種など関係なく、仲良しげに登校している場面にも何度か出会った。教育の場として、この上なく素晴らしい所だと感じた。そのような場で学習する機会を得ることができた幸運に、家族に、関わって下さった全ての人に感謝している。この研修に参加することができて本当に良かった。

学生の声②-人文学部 学生

私はこの研修に参加するかを最後まで悩んでいた。高校で日本史や世界史をやらなかったし、文学についての知識もなかった。また英語も得意ではないため、コミュニケーションがとれるかという不安もあった。さらに私がやりたいと思っている分野の授業が少なく、あまり興味のない分野も多かったため、授業についていけるか不安だった。しかし、実際にオクスフォードに行き、大学で授業を受けて、それまで興味なかった分野にも興味を持つことができた。それは先生方が1つ1つ丁寧な指導で教えてくださったり、授業内で外に出て、実物を見ながら学べたことで、深く理解することができたからだと思う。オクスフォードだからこそ学べる授業だったと思う。この研修内での様々な経験はどれも良い思い出になった。今までに行かなかったことのない国で、今まで知らなかった人たちと今までにしたこともなかった経験をし、今までになかった視点や考え方、知識を得られたと思う。また、今度はほかの国に行ってみようという興味、読んだことのない分野の本に挑戦したいという意欲も持つことができ、今後の学習や生活にも大きな影響を与えてくれたと思う。この2週間はとても濃密で一瞬のように感じた。来年以降、この研修に参加しようかどうか迷っている人がいたら、ぜひこの研修をおすすめしたいと思う。私は、この研修で得た知識、経験を生かして、今後大学生活を送っていきたく思う。

研修修了証を手にする研修生たち



オクスフォード大学の拠点となったSt Mary the Virginの3世紀に建てられた塔から大学街を眺める研修生たち

